令和2年(2020年)6月5日 豊中市立第十三中学校 学校だより

## Team 13

- 6 -

5 - 農業

校訓「自主・創造・敬愛」

ホームページ URL http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh13/



## オンライン授業はじめました

6月1日から各クラスの人数を2分割にした分散登校で授業が始まりました。

新型コロナウイルスによる感染症の状況について、今は感染者数が相当に少なくなりましたが、今後第二波の拡大が起こる可能性が多分にあるとされています。

万一再び臨時休業となった際に、子どもたちの学びを 止めないために私たちは何ができるかを考え、オンライン授業ができる準備をして、実践することとしました。 1日から12日までの分割授業の期間、多くの授業において、各教室に授業を同時配信して授業を進めます。数 日間行ったところですが、どんな方法で授業をすれば効果的か試行錯誤をしています。



もしPC 端末とネットワーク環境が全体に整っていれば、臨時休校となってもオンライン授業を開始して自宅から授業に参加することができるようになる可能性があります。先のご家庭のICT 環境調査では、ご家庭によっては端末が不足している、スマホの小さい画面では継続した学習が難しい、ネットワーク環境がない、といった課題がありましたので、端末やWiFi の貸し出しの方法も引き続き模索をしてまいります。もしもご家庭で今後ご用意される予定があるならば、次のような仕様でお考え頂くとよいのではないかと思います。



ネットワーク環境について、ある大学で終日オンライン授業を受講するとすれば、月間で 15GB 程度はデータの通信量が必要という試算がありました。また、端末については最新機種ではなく中古でも良いと思います。OSのサポートが切れていないこととインターネット接続機能は必須ですが、さらにカメラやキーボードがある(後付けでも可)方が良いと思います。(学校では Windows10のタブレット PC を使用しています。)再び休校にならないようにと願っておりますが・・。

また、ネット依存にならないように使用時間や使用できるアプリについてはお子さんとよく話し合い、事前にご家庭でルールを決めて頂くことが必要です。(学校 HP から昨年度の学校だより 1月31日号をご参照ください。)

## 差別や偏見が感染拡大の原因に

この感染症にかかった人やその家族を差別したり、かかっていなくても「お前コロナやろ」などとからかったりする風潮になれば、どんなことが起こるでしょうか。何日も熱があっても検査や入院を拒否したり、自分が濃厚接触者であるとは認めなかったり、少し体調が悪くてもそれが言い出せなかったり、といったことがきっと起こります。そうなると感染はどんどん広がってしまいます。

どんなに気をつけていても感染は誰にでも起こりうることです。感染した人を非難したり偏見の目で見たりせず、回復を願い応援する空気をみんなで作ることによって、体調の悪くなったときに休みやすくなったり、誰かに感染させない行動を取りやすくなったりします。その結果、みんなの安心、安全も広がります。とても大切なことだと思います。

## 感染拡大予防のために

中学生ですから「次のような行動が、どうして感染予防になるのか」をしっかり理解した うえで行動しましょう。急速な第二波が来ないように!

1) せっけんを使って手洗いをしましょう。

もしウイルスが手についても、傷がない限り手から感染することはありません。でもその手が目、鼻、口などの粘膜に触ると感染する危険があります。無意識に顔を触る前に手を洗えば、ウイルスの膜が脂肪でできているためせっけんによって壊されてしまうので感染しません。水道のカラン(回す部分)も一緒にせっけんで洗おう。

※ 手洗い後のためにハンカチを持ってきてください。ブルブルと手を振って、あたり一面に水をまき散らさないでくださいヨ!



トイレ掃除は今は職員で。

2) 咳エチケットの徹底をしましょう。

くしゃみや咳の時の細かい飛沫やしぶきがしばらく空気中に漂い、感染をひろげてしまいます。マスク、ハンカチ、袖などで<u>口を覆うことで飛沫の量を大幅に減らす</u>ことができます。

- 3) <u>3密を避けましょう。</u>
  - ・密閉X → 教室でも少なくとも2方向を空け、空気の流れを作り換気します。 もしウイルスが漂っていても、新鮮な空気が外に押し流してくれます。
  - ・密集X → できるだけ人の集まる場所に出かけない。混んでいる時間をずらす。
    中学生には難しい部分もありますが、できるだけ心がけましょう。
  - ・密接X → 最近スーパーのレジでも待つ場所の線が引いてあります。人と離れるのはウイルスを含んだ飛沫が別の人に届く前に地面に落ちたり、乾燥したりするか

らです。**乾燥するとウイルスは感染力を失います。** 1~2m 離れましょう。